

長谷川 博

はせがわ ひろし

東邦大学 理学部 生物学教室 教授



1948年静岡県生まれ。1971年京都大学農学部農林生物学科（昆虫学）卒業。1976年京都大学大学院理学研究科博士課程（動物学専攻）単位取得退学。日本学術振興会奨励研究員をへて、1977年東邦大学理学部（海洋生物学研究室）助手。その後、講師、助教授をへて、現在、東邦大学理学部教授（動物生態学研究室）。

1976年から年2～3回、伊豆諸島鳥島に通い、絶滅の危機にあった大型海鳥アホウドリの個体群監視調査と保全研究を継続してきた。多くの人たちと協力して、急斜面にある不安定な従来営巣地で繁殖成功率を40%台から70%台に改善し、また、なだらかで安定した斜面に繁殖前の若い鳥を誘引して新営巣地を形成することにも成功した。その結果、200羽以下だったアホウドリの個体数は2000羽以上に回復した。

アホウドリの保全に対する長年の努力に対して、都民文化栄誉章（1996年）、吉川英治文化賞（1998年）、National Wildlife Federation（USA）Conservation Achievement Award（1999年）、日本学士院エジンバラ公賞（2000年）、Pacific Seabird Group（USA）Special Achievement Award（2001年）、日本自然保護協会沼田眞賞（2005年）、山階鳥類研究所山階芳麿賞（2006年）などを受賞。

近著：『50羽から5000羽へ：アホウドリの完全復活をめざして』（どうぶつ社、2003年）、『アホウドリに夢中』（新日本出版社、2006年）